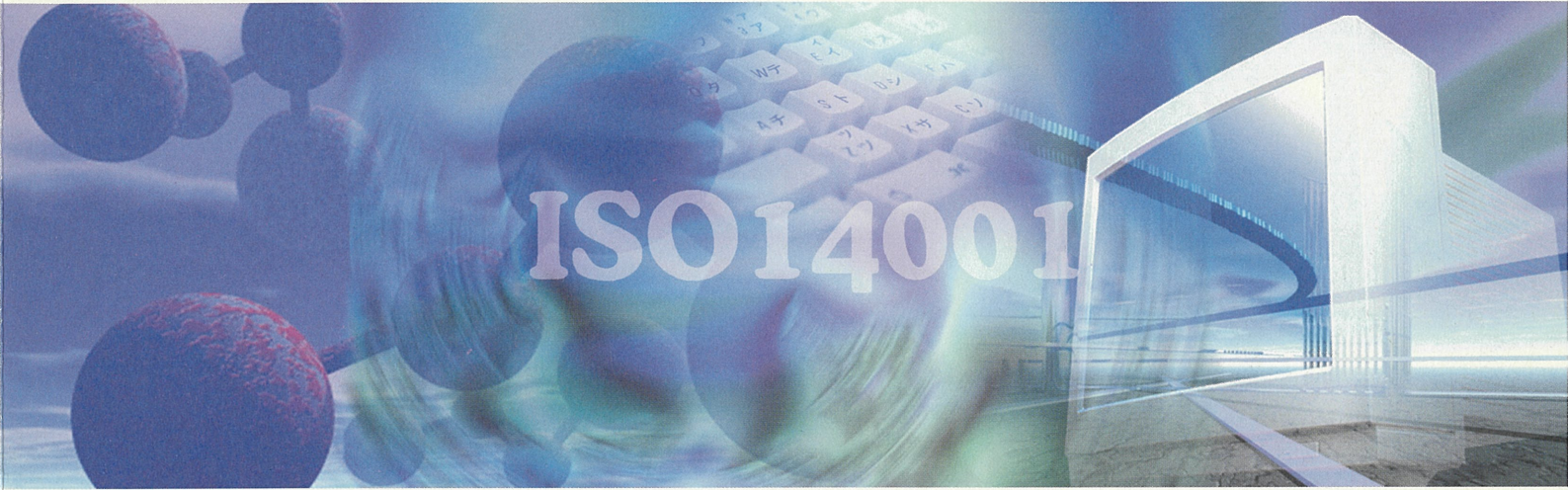


◆「ISO 14001 環境マネジメントシステム」構築スケジュール

認証取得までの標準期間は、約10ヶ月です。



月数 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
推進過程	準備期間		システム構築・文書整備期間				運用期間			本審査
お客様	推進体制確立	★キックオフ	ISO 14001取得プロジェクト 推進会議（毎月、随時）							
			方針策定							
		環境側面調査								
		法規制登録								
		目的・目標プログラム策定								
		マニュアル・手順作成								
		手順に基づく教育								
コンサルタント		環境側面登録支援 法規制対応支援								
			目的・目標 策定支援							
				文書作成支援 運用管理項目設定支援						
				緊急時対応支援						
				監査員教育						
	導入教育～構築状況に応じた各セミナー、教育									
		申請書作成支援						外部審査対応支援		
外部審査			申請書提出				書類審査	初動審査		本審査



21世紀へのパスポート
「ISO 14001 環境マネジメントシステム」

継続的改善のシステム作りを目指して

地球共生時代に勝ち残る経営戦略。当社のサポートで万全です。

◆「ISO 14001」って何？

「ISO14001」（環境マネジメントシステム）とは、「環境に関する経営方針を体系的に実行していくためのシステム」です。

具体的には、経営者が決めた「環境方針」に従って、環境に関する「計画(PLAN)」を立て、それ



を「実施&運用(DO)」し、その結果を「点検&是正(CHECK)」し、それを「見直し(ACTION)」するというPDCAサイクルのシステムを構築します。そして、計画に対する達成度を確認しながらシステムを継続的に運用していくことで、環境負荷の低減や事故の未然防止を推進していくものです。



◆「ISO 14001」のメリット6

- ①環境経営は21世紀に勝ち残る経営戦略に役立ちます。
- ②地域環境への配慮、情報公開により地域社会への貢献につながります。
- ③省エネルギーや廃棄物削減により、製造コストの低減につながります。
- ④環境リスクの回避、環境関連施設の改善を推進します。
- ⑤取引先や行政との協調、他社との差別化に役立ちます。
- ⑥企業のイメージアップにつながります。

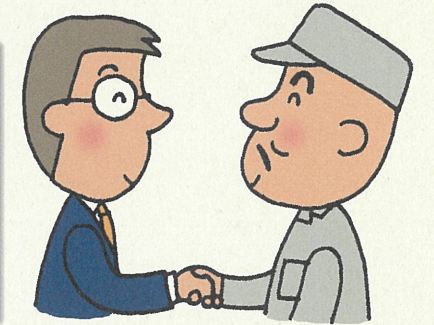


◆継続的改善を目指したシステム作り

「人間がいま、発展を守り維持しようとして、あるいは自らのニーズを満たし野心を実現させようとして行っている努力の多くは、国の貧富にかかわらず、持続不可能である。

すでに、残高を超えて引き出してしまった環境資源という口座から、われわれはなおも大量の資源を急速に引き出し続けている。…われわれの世代のバランスシートには利益が計上されるかもしれないが、子供たちは確実に損失を受け継ぐことになるだろう」

環境と開発に関する世界委員会・資料より



20世紀に蓄えられた負の遺産への答えの一つが、「循環型経済社会の実現」です。省エネルギー、省資源、廃棄物削減・リサイクルなど、企業が取組むべき多くの環境活動は、その具体的手段と言えるでしょう。それらを効率よく展開するためのツールとして「ISO14001環境マネジメントシステム」があります。

私たちは、企業活動の及ぼす地域社会への影響、地球環境への変化を常に広い視野で見つめ、環境保全に努めてきました。そして、企業としての社会的責任を強く認識し、ISO14001を通じて、環境保全を具体化する活動や技術開発を積極的に進めています。

「環境に積極的に取り組みたい!」とお考えの皆様に対して、これらの活動で築き上げたノウハウをもとに、継続的改善を目指したシステム作りの支援をさせていただきたいと考えています。

◆サポート業務



「ISO 14001」の認証取得サポート業務

「ISO 14001」取得後のシステム運用サポート業務

「ISO 14001」に関する法規制の制定・改正情報の提供

「ISO 14001」に関する各種セミナーの開催

「ISO 14001」に関する具体的な下記の環境技術

- 1) 排ガス、排水、騒音、振動、悪臭等に関する公害防止及び測定技術
- 2) 省エネルギー及び省資源に関する技術
- 3) 化学物質等の対応及び環境リスク対応に関する技術
- 4) 廃棄物の削減及びリサイクルに関する技術
- 5) 土壌、地下水汚染の調査及び浄化に関する技術

◆推進体制の例

